



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

2022年度 市民開放授業



国際医療福祉大学では、大学の一部の授業を「市民開放授業」として地域の方々に開放しています。

募集要項

開講科目



ボランティア論

担当教員：大石 剛史 准教授

[略歴]

日本社会事業大学 社会福祉学部 社会事業学科 卒業
日本社会事業大学大学院 社会福祉学研究科 博士前期課程
修了 修士（社会福祉学）
東北福祉大学大学院 総合福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程
修了 博士（社会福祉学）

2000年 国際医療福祉大学 医療福祉学部 助手
2005年 同大学 同学部 講師
2005年 同大学 IUHWボランティアセンター センター長
2014年 同大学 同学部 准教授

科目概要

本科目は、①講義によってボランティアについての理念や社会的意義等の基礎的な知識を理解し、②受講生の主体的な学習および受講生同士の討議を通して、ボランティア観を形成する。③ボランティアの理論とその実際を学び、ボランティア活動を理論的、実践的に理解していきます。

開講期間

4月8日(金)～7月22日(金)

毎週金曜日14時40分～16時10分(全15回)

※4月29日(金・祝)は授業日です。

※5月6日(金)は休講です。

募集定員

50名まで

受講料

5,000円(15回講義)

※支払い方法は、申込後にご案内致します

募集期間

2月21日(月)～3月4日(金)

申込方法

本紙裏面の申込用紙を、大学教務課窓口へ持参していただくか、郵送もしくはFAXでお申込みください。

※申込用紙は大学教務課窓口にあるほか、大学HP <https://otawara.iuhw.ac.jp> からも取得できます。

講義内容(全15回) ※講義回、講義内容は予定であり、変更となる可能性があります

- 1.(4/8) ボランティアの本質
- 2.(4/15) ボランティアの実際
- 3.(4/22) 人と人が助け合う理由とボランティアの意義①
- 4.(4/29) 人と人が助け合う理由とボランティアの意義②
- 5.(5/13) ボランティアとSDGs①
- 6.(5/20) ボランティアとSDGs②
- 7.(5/27) ボランティアとSDGs③
- 8.(6/3) 中間質疑 ボランティアの本質と意義
- 9.(6/10) これからの日本の社会づくりのあり方とボランティアの役割①
- 10.(6/17) これからの日本の社会づくりのあり方とボランティアの役割②
- 11.(6/24) これからの日本の社会づくりのあり方とボランティアの役割③
- 12.(7/1) これからの日本の社会づくりのあり方とボランティアの役割④
- 13.(7/8) 映画で考えるSDGsとボランティア①
- 14.(7/15) 映画で考えるSDGsとボランティア②
- 15.(7/22) 映画で考えるSDGsとボランティア③